



2020年9月28日

各 位

上場会社名	東京産業株式会社
代表者	代表取締役社長 里見 利夫 (コード番号 8070)
問合せ先責任者	取締役企画本部長 蒲原 稔
(TEL	03 - 5656 - 0364)

### (訂正)「2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、2020年1月31日に開示いたしました「2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年9月28日)付「有価証券報告書および決算短信等の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後のみ全文を添付しております。

なお、単体ベースでの開示から連結ベースでの開示への訂正であることから、訂正箇所を示す下線\_\_\_\_の表示を省略しております。

以 上



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

東

上場会社名 東京産業株式会社 上場取引所  
 コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 蒲原 稔 (TEL) 03-5203-7841  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	76,532	△15.3	1,856	△2.1	2,106	△2.8	1,443	△3.1
2019年3月期第3四半期	90,312	—	1,895	—	2,165	—	1,489	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,319百万円(12.6%) 2019年3月期第3四半期 1,171百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	53.64	—
2019年3月期第3四半期	55.39	—

(注) 2018年3月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	68,653	25,068	36.5
2019年3月期	74,873	24,133	32.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 25,068百万円 2019年3月期 24,133百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2020年3月期の連結業績予想は策定しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	28,678,486株	2019年3月期	28,678,486株
2020年3月期3Q	1,762,079株	2019年3月期	1,773,814株
2020年3月期3Q	26,911,981株	2019年3月期3Q	26,891,406株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、株式付与ESOP信託及び役員報酬BIP信託を導入しており、各信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需は個人消費に支えられ底堅く推移し、外需はIT需要の回復や設備投資抑制姿勢の緩和などの傾向はみられるものの、足元の景気は依然として停滞感の強い状況にあります。また世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの要因から、先行き不透明な状況が続いております。

このようななか、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ137億79百万円減少の765億32百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

売上総利益は59億59百万円（前年同四半期比1億56百万円増、2.7%増）、営業利益18億56百万円（前年同四半期比39百万円減、2.1%減）、経常利益21億6百万円（前年同四半期比59百万円減、2.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億43百万円（前年同四半期比46百万円減、3.1%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

従来、「化学・環境事業」に含めておりました、販売先がプラントメーカー等となる発電設備補機関係のうち、エンドユーザーが電力事業者となるものにつきまして、第1四半期連結会計期間より、「電力事業」に組み替えを行っております。

これは、今後、電力自由化がさらに進むことが予想される現状を踏まえ、業務管理の効率性、強化を目的とし、社内の管理組織を見直したことに伴う変更であります。

なお、第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (電力事業)

売上高は433億66百万円と前年同四半期に比べ1億30百万円の減少となっております。また、セグメント利益は7億75百万円と前年同四半期に比べ3億34百万円の増加となりました。

#### (化学・環境事業)

売上高は183億88百万円と前年同四半期に比べ158億43百万円の減少となっております。また、セグメント利益は5億15百万円と前年同四半期に比べ6億32百万円の減少となりました。

#### (電子精機事業)

売上高は97億76百万円と前年同四半期に比べ19億80百万円の増加となっております。また、セグメント利益は3億55百万円と前年同四半期に比べ2億40百万円の増加となりました。

#### (生活関連事業)

売上高は49億円と前年同四半期に比べ2億13百万円の増加となっております。また、セグメント利益は1億62百万円と前年同四半期に比べ17百万円の増加となりました。

#### (その他)

売上高は1億1百万円と前年同四半期に比べ1百万円の増加となっております。また、セグメント利益は47百万円と前年同四半期に比べ1百万円の増加となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (イ) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、686億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して62億20百万円の減少となりました。主な要因として、有形固定資産の増加により固定資産が3億27百万円増加したものの、売上債権の減少等により流動資産が65億47百万円減少したことによるものであります。

#### (ロ) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は435億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億55百万円の減少となりました。主な要因として、引当金の増加により固定負債が51百万円増加したものの、仕入債務の減少等により流動負債が72億6百万円減少したことによるものであります。

#### (ハ) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は250億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億35百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は36.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月28日に連結財務諸表作成会社へ変更する訂正を行っており、過年度分となるため、連結の業績予想は算出しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,432	7,905
受取手形及び売掛金	37,700	21,630
有価証券	2,200	1,700
商品	1,210	1,328
前渡金	9,506	16,849
その他	401	489
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	56,436	49,888
固定資産		
有形固定資産	9,660	10,409
無形固定資産	60	75
投資その他の資産		
投資有価証券	5,227	5,051
その他	3,498	3,237
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,716	8,280
固定資産合計	18,437	18,765
資産合計	74,873	68,653
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,391	8,759
受託販売未払金	23,733	6,228
短期借入金	1,447	3,737
未払法人税等	464	210
前受金	10,775	18,420
引当金	389	191
その他	565	1,013
流動負債合計	45,767	38,560
固定負債		
長期借入金	2,812	2,816
引当金	240	272
退職給付に係る負債	—	10
その他	1,919	1,925
固定負債合計	4,973	5,024
負債合計	50,740	43,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,822	2,822
利益剰余金	17,009	18,074
自己株式	△678	△673
株主資本合計	22,596	23,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,397	1,324
繰延ヘッジ損益	△24	△21
土地再評価差額金	36	36
為替換算調整勘定	—	△35
退職給付に係る調整累計額	126	97
その他の包括利益累計額合計	1,536	1,401
純資産合計	24,133	25,068
負債純資産合計	74,873	68,653



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	90,312	76,532
売上原価	84,509	70,573
売上総利益	5,802	5,959
割賦販売未実現利益戻入額	12	—
差引売上総利益	5,814	5,959
販売費及び一般管理費	3,919	4,102
営業利益	1,895	1,856
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	213	204
為替差益	22	0
その他	78	87
営業外収益合計	322	301
営業外費用		
支払利息	45	46
その他	6	4
営業外費用合計	51	51
経常利益	2,165	2,106
特別利益		
投資有価証券売却益	0	3
受取保険金	0	—
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	2,166	2,108
法人税等	676	664
四半期純利益	1,489	1,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,489	1,443

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,489	1,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	△73
繰延ヘッジ損益	△25	3
為替換算調整勘定	—	△24
退職給付に係る調整額	△42	△29
その他の包括利益合計	△318	△124
四半期包括利益	1,171	1,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,171	1,319
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力事業	化学・環境 事業	電子精機 事業	生活関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,496	34,232	7,795	4,687	90,212	100	90,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,496	34,232	7,795	4,687	90,212	100	90,312
セグメント利益	441	1,148	114	144	1,849	45	1,895

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,849
「その他」の区分の利益	45
四半期連結損益計算書の営業利益	1,895

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力事業	化学・環境 事業	電子精機 事業	生活関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,366	18,388	9,776	4,900	76,431	101	76,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,366	18,388	9,776	4,900	76,431	101	76,532
セグメント利益	775	515	355	162	1,809	47	1,856

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,809
「その他」の区分の利益	47
四半期連結損益計算書の営業利益	1,856

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「化学・環境事業」に含めておりました、販売先がプラントメーカー等となる発電設備補機関係のうち、エンドユーザーが電力事業者となるものにつきまして、第1四半期連結会計期間より、「電力事業」に組み替えを行っております。

これは、今後、電力自由化がさらに進むことが予想される現状を踏まえ、業務管理の効率性、強化を目的とし、社内の管理組織を見直したことに伴う変更であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」に記載しております。